



七つ星  
校訓「志高く」

## 「令和時代のスタンダード」

校長 前田 倍成

今回の表題は、昨年末に萩生田文部科学大臣が出されたメッセージにあるものです。「1人1台端末環境は、もはや令和の時代における学校の『スタンダード』であり、特別なことではありません」このGIGAスクール構想に志賀町がいち早く取り組んでいただいたおかげで、本校にも1人1台のタブレット端末が整備され、学年によってはすでに学習で活用するなど、教育現場での現実味がぐんと色濃くなっています。

大臣のメッセージには「PC端末は、鉛筆やノートと並ぶマストアイテムです。今や、仕事でも家庭でも、社会のあらゆる場所でICTの活用が日常のものとなっています。社会を生き抜く力を育み、子供たちの可能性を広げる場所である学校が、時代に取り残され、世界からも遅れたままではられません。」とも記されています。

タブレット端末などのICT環境が整っていくことは、これまでの学習・授業の在り方を大きく変え、子どもたちの学びの可能性を格段に拓けるであろうことは想像に難くありません。また、全国的なコロナ感染の拡大が懸念される中、もしもの事態には、オンライン学習などタブレット端末を活用して子どもの学びを止めない方策をとることも期待できます。ただ、子どもたちに、学力が高まる“魔法”がかかるわけではありません。

現在、志賀町では、各学校からICT活用の授業実践リーダーが集まり、教師の在り方や果たすべき役割、指導体制の在り方、ICT活用指導力の向上などの方策について、具体的な協議・研修が積み重ねられています。

難しいことを並べてしまいましたが、実際に授業でタブレットを使っている子どもたちはとても楽しそうに、また意欲的に学習活動に取り組んでいます。私たち教員も、まずはできることから遠慮なく学習活動で使ってみることにチャレンジです。使ってみないと何も変わらないのですから。

### 【ペタンクで異世代間交流（志賀町老人会のみなさんと4年生）】

11月6日(金)、恒例の異世代間交流を行うことができました。老人会の方々には朝早くからグラウンドの準備などでお世話いただき、ゲームでは、審判をされながら、子どもたちに丁寧にルールを教えていただきました。

子どもたちのゲーム自体も白熱し、交流後には「もう1ゲームやりたかった」や「ペタンクに興味をもった」「上手に投げられてうれしかった」など、どの子にも満足げな表情がありました。老人会の方々には心より感謝いたします。



「おっ、いいところに投げたねえ」

### 【オリンピック・パラリンピック共生社会ホストタウン事業に参加協力】



正本レイラさんと一緒に

11月5日(木)には、6年生がアゼルバイジャンとオリンピックの歴史について、東京と結んだオンライン講座を受講しました。

そして10日(火)には、アゼルバイジャン応援動画の撮影に参加しました。アゼルバイジャンとのハーフでタレントの正本レイラさんも駆けつけ、6年生と一緒に参加してくださいました。子どもたちにとっても貴重な機会をどうもありがとうございました。

—— 受賞，おめでとうございます！ ——

#### 【県児童硬筆書写作品コンクール】

会長賞（北國新聞社賞） 3年 堂高 柚

#### 【税に関する標語】

優秀作品 6年 小浦 賑太 海老口 優衣 中本 大幹 山本 風駕 堺 粧裕  
寺門 美咲 谷内 絵美里 若平 一悟 山田 菜々美

#### 【いしかわ子ども交流センター七尾館 イラストコンクール】（本校イラストクラブから応募）

館長賞 6年 中島 来果 七尾館賞 5年 小林 千紗

—— 保護者のみなさまへ ——

#### □ ご参観いただきありがとうございました

教育ウィークの11/2、4の2日間で、のべ183名の保護者の方々に参観いただきました。子どもたちや職員の様子はいかがでしたでしょうか。保護者のみなさまには、ご多用の中本当にありがとうございました。

#### □ 赤い羽根募金へのご協力ありがとうございました

11月9～13日の間、26,458円の募金がありました。温かいお心に感謝いたします。

#### □ 運動会練習・予行の様子 しかチャンネルでの放映日が決定しました

① 期間：11月16日(月)～11月22日(日)

時間帯：15:00 第1部(開会～個人走) 16:00 第2部(団体演技～閉会)

② 期間：12月1日(火)～12月15日(火)

時間帯：20:00 第1部(開会～個人走) 21:05 第2部(団体演技～閉会)